

TAD Letter | 14



富山県美術館

Toyama Prefectural Museum of Art and Design

チューリップテレビ開局30周年記念

ポーラ美術館コレクション展 ―印象派からエコール・ド・パリ―

2021年4月24日(土)～6月27日(日)



ポスター Design: 三木 健

2002年9月に「箱根の自然と美術の共生」のコンセプトのもと、富士箱根伊豆国立公園内の箱根・仙石原に開館したポーラ美術館のコレクションは多岐にわたり、その総数は約1万点におよびます。中でも西洋絵画のコレクションは、19世紀フランス印象派からポスト印象派、そして20世紀絵画にいたるまで、西洋の近代美術の展開を体系的にたどることができる、国内でも屈指のコレクションです。

本展覧会では、「印象派からエコール・ド・パリ」と題し、ポーラ美術館収蔵作品からモネやルノワールの印象派、セザンヌ、ゴッホなどポスト印象派、マティス、ピカソら20世紀を代表する画家たち、そしてユトリロやシャガールなどエコール・ド・パリに至るまで、フランスで活動した作家による74点の絵画と、12件の化粧道具を精選して紹介します。画家たちを魅了してやまないフランスという地で、時代や様式を超えて受け継がれる美意識を、ぜひ会場でお楽しみください。

開催概要

開館時間	9:30～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	毎週水曜日、5月6日(木)※4月29日(木)から5月5日(水)は無休
会場	富山県美術館2階 展示室2、3、4
主催	富山県、ポーラ美術館コレクション展実行委員会(富山県美術館・チューリップテレビ)、公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
後援	朝日新聞富山総局、北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞、毎日新聞富山支局、読売新聞北陸支社
協賛	NISSHA
協力	ヤマト運輸
企画制作	TBSテレビ
企画協力	テモアン
観覧料	当日一般1,400(1,200)円、大学生1,000(800)円、高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

関連イベント

会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。



クロード・モネ〈サン＝ラザール駅の線路〉1877年
ポーラ美術館蔵



ポール・セザンヌ〈プロヴァンスの風景〉1879-1882年
ポーラ美術館蔵



ラウル・デュフィ〈パリ〉1937年
ポーラ美術館蔵



エミール・ガレ〈女神文香水瓶〉1884年
ポーラ美術館蔵

01

印象派からエコール・ド・パリ、総勢28名の珠玉の作品を一堂に展示

モネやルノワール、ピサロなど、印象派の旗手となった画家たちのほか、ポスト印象派を支えたセザンヌやゴッホ、20世紀を代表するマ蒂斯やピカソ、パリの華やかな時代をエコール・ド・パリとして彩ったユトリコやシャガールら、総勢28名の画家たちの作品を、一堂にご覧いただけます。

02

展覧会に流れる3つのテーマ

本展には、美術史的な年代で区分した章立てのほか、全体の中で「女性像」、「パリ」、「旅」という3つのテーマがあります。例えば「パリ」と一言と言っても、「パリ」のどこを描いたのか、そして感じ方や描き方は画家それぞれです。画家たちがどのように描き出そうとしたのか、その違いも合わせてお楽しみください。

03

アール・ヌーヴォー、アール・デコの化粧道具

アール・ヌーヴォーを代表するガラス工芸作家エミール・ガレや、アール・デコで活躍したルネ・ラリックによる香水瓶、そして時代を象徴するような繊細で華やかなデザイン化粧道具一式など、普段はポーラ美術館でしか見ることのできない作品を、富山でご覧いただける絶好の機会です。

第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2021

2021年7月10日(土)～9月5日(日)



企画展「第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2021」ポスター Design：三木健

世界ポスタートリエンナーレトヤマ (IPT) は、世界から最新のポスターを公募・審査・選抜する、日本で唯一の国際公募展です。1985年の創設以来、3年に1度のトリエンナーレ方式で開催を続けており、デザインの世界では「IPT、トヤマ」で伝わるポスター公募展として注目されています。IPT2021の公募では、様々な領域でのデジタル化が進むなか、ポスターの魅力を改めて伝えるべく、紙媒体応募のA、B部門の見直しとともに、前回から設けた30歳以下対象のデジタルデータ応募の募集範囲を、30歳以上の学生にも拡大しました。新型コロナウイルス感染拡大により、国と地域を問わず社会全体が様々な制限を受ける中での公募でしたが、応募総数は世界73の国と地域からの全部門総計5,943点に及びました。本展では、4月の1次審査で選ばれる入選作品、開会直前の2次審査で選ばれる受賞作品に、審査員による招待作品を加えた約400点を紹介する予定です。ポスターデザインの最先端とともに、ポスターに乗せて富山まで伝えられる世界のメッセージにふれていただきたいと思います。

開催概要

開館時間	9:30-18:00 (入館は17:30まで)
休館日	毎週水曜日 (ただし、8月26日-9月5日は無休)、8月10日、11日
会場	富山県美術館2階 展示室2、3、4
主催	富山県美術館
後援	公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) 東京アートディレクターズクラブ (TOKYO ADC)、東京イラストレーターズ・ソサエティ (TIS) 東京タイプディレクターズクラブ (Tokyo TDC)、「ポスターの街・とやま」実行委員会
協力	YKK株式会社
観覧料	一般1100 (850) 円、大学生550 (420) 円、高校生以下無料、一般前売り850円 ※ () 内は20名以上の団体料金

関連イベント

会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。

IPT2021実行委員・審査員(五十音順)

IPT2021実行委員	色部義昭、佐藤卓、藤崎圭一郎、三木健、雪山行二
第一次審査員	色部義昭、川上典李子、佐藤卓、藤崎圭一郎、三木健、室賀清徳
第二次審査員	浅葉克己、佐藤卓、松永真、三木健

新型コロナウイルス感染拡大により海外審査員の招聘が困難となったため、IPT2021の全審査は国内審査員で行います。

鈴木マサルデザインの「みんなの富山もよう」展 暮らしにとけこむアート&デザイン

2021年5月17日(月)～6月22日(火)

古今東西、さまざまな「もよう」が生みだされてきました。身近な自然や動物などがモチーフとなったもようは地域の特徴の発見であり、表現。日々の時間を彩る色とかたちです。

「富山のいいもの、もようにしたら、富山をもっと好きになる」を合い言葉として、2014年に始まった「富山もよう」。マリメッコやカンパールのデザインをはじめ世界的に活躍するテキスタイルデザイナーの鈴木マサルが富山の豊かな自然や文化を鮮やかなもようで表現、すでに12柄が発表されてきました。デザインの視点で地域の魅力を共有する提案としても評価され、グッドデザイン賞「グッドデザイン・ベスト100」に選出されるほか、美術の教科書にとりあげられるなど、広く注目を集めています。

本展は、富山もようの世界観をTADギャラリーの空間いっぱいに表示するものです。鈴木マサル手がけるインスタレーションでは、代表的なもようが大胆なスケールで登場します。

富山の魅力を伝えるもようの醍醐味とともに、生活にとけこみ、創造力を喚起するアート&デザインの本質的な力を、体感ください。



ポスター Design：高橋 理 富山もようDesign：鈴木マサル

開館時間 9:30-18:00 (入館は17:30まで)
 休館日 毎週水曜日
 会場 富山県美術館1階 TADギャラリー
 主催 富山県美術館、富山もようプロジェクト(富山もよう展ディレクターズ、北日本新聞社)
 制作協力 日本折紙協会富山県支部「遊々」、北日本新聞有沢販売店
 協力 D&DEPARTMENT TOYAMA
 観覧料 無料

開催概要

会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。

関連イベント

「アートとイート」をコンセプトにした新レストラン

BiBiBi & JURULi がオープン

3階に新レストラン「BiBiBi&JURULi」（ビビビとジュルリ）が2021年4月10日にオープンしました。

アートで感性を“ビビビ”と刺激する。

イートで食欲を“ジュルリ”と刺激する。

「アートとイート」にこだわり、美術館の企画展と連動したメニューや、富山の豊かな食材にこだわってメニューを展開していきます。県内15市町村の様々な生産者とのご縁により、富山の旬の味をお楽しみいただけます。また、料理を引き立たせる食器には、富山の職人の皆様によって丁寧に作られた伝統工芸品を使っています。木のプレート、鋳物、陶器、磁器、ガラスなど、質感の違う様々な食器と料理のコラボレーションをお楽しみいただけます。

「BiBiBi&JURULi」は、親子で楽しいスポットとして、気軽に何度も来なくなる場です。店名にもなっているアートが大好きなウサギちゃん「ビビビ」と食いしん坊のクマちゃん「ジュルリ」が皆様をお出迎えます。

メニュー例

富山の旬の彩り“コンポジションプレート”

肉や海産物、野菜、卵、味噌など、富山の旬の食材をふんだんに使ったプレート。内容は季節に合わせてご提供します。

1,800円(税込)



ビビビとジュルリプレート

不思議な木のプレートに、色とりどりのメニューを並べました。見てたのしい、食べておいしいお子様向けのプレートです。

900円(税込)



オノマトペサンデー

“ふわふわ”生クリーム、“サクサク”メレンゲ、“バリバリ”チョコレート、“とろとろ”アイスクリームなど、いろいろな味と食感をお楽しみいただけます。

750円(税込)



店舗概要

店名	BiBiBi&JURULi ビビビとジュルリ
場所	3階
営業時間	11:00~18:00 ランチL.O.14:30 / レストランL.O.17:30
休日	毎週水曜日(祝日除く)※美術館の休日に準ずる
電話番号	076-482-3037
URL	https://bibibi-juruli.com

やってみよう!どこでもオープンラボ vol.4

おるぞー!ミルゾー!つくるぞー!

ミルゾー紙ふうせん 動画

3階アトリエでは、当館のマスコットキャラクター「ミルゾー」のおりがみを無料配布中です。おりがみのカラーバリエーションは全5色。お持ち帰り用に折り方ガイドも準備しています。さらに、折り方をわかりやすく見ていただけるよう、折り方の手順を動画でもご案内しています。お手持ちのおり紙でも折ることができますが、ぜひ美術館に来てチャージングなミルゾーおりがみをゲットしてみてくださいね。



URL <https://youtu.be/EYgKW4d5RCE>
 時間 3:34
 配布場所 富山県美術館3階ラボ(アトリエ)



これまでの配信動画

どこでもTADワークショップ

第01回 よしとさん「みかんちゃん」

お掃除が苦手なでっぴりおちゃめな「ソウジイヨさん」(32歳)に心を入れ替えてもらおうと奮闘する「みかんちゃん」と「リンゴくん」のお話。しかしイヨさんは「室内にイタズラする妖精がいる!今日こそ見つけてやる!」と意気込む始末。果たして正体を見破ることができるのか?

第02回 蓮沼昌宏さん「つくろう!クルクルアニメーション」

身近な材料を使って、オリジナルアニメーション装置をつくろう!バラバラマンガ等の仕組みによるアニメーションを制作している蓮沼さんが、家庭でもつくれる装置をご紹介します。

やってみよう!どこでもオープンラボ

第01回 「タングラムで動物あそび」

身の回りにある手軽な道具や材料で工作体験ができます。第1回目は「タングラム」というシルエットパズルをポストカードでつくります。パズルができれば動物など、色々なもののシルエットを作って遊んでみましょう。

第02回 「ニコニコボンボンをつくろう」

100円ショップなどで手に入る手軽な道具や材料で工作体験ができます。「ニコニコボンボン」という毛糸のマスコットキャラクターをつくります。

第03回 「マテリアるんるんスター☆彗」

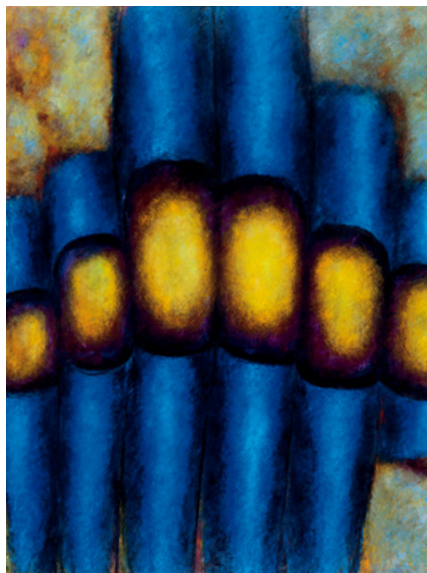
身の回りにある手軽な道具や材料で工作体験ができます。「マテリアるんるんスター☆彗」と名付けた色紙でつくるオーナメント(部屋飾り)制作です。



UNTITLED 95-6

辰野登恵子

1995年
キャンバス・油彩
259.0×194.0



等身大を超える大画面に、巨大な青い筒様の形と、黄色い楕円の輝きがリズムカルに並んでいる。形は単純で、油絵具の深みのある青も、暖かな黄色も、手で触れられそうなほどに具体的だが、描かれたものが何かはわからない。

1950年長野県に生まれた辰野登恵子は、74年に東京藝術大学大学院を修了。1970年代に版画やドローイングでグリッドやストライプなどミニマルな表現を試みたあと、70年代末から油彩やアクリルで、大画面に曲線や菱形、円や直方体といった形象を豊潤な色彩と豊かなマチエールで描き、抽象表現主義以降の新たな絵画空間を切り開いた。

辰野が学んだ70年代は、ミニマリズムやコンセプチュアリズムなどモダニズムの還元主義的な流れの中で、「絵画」や「彫刻」が容易に描けない、作れない時代だった。辰野は後に、油絵なんてなくなるんじゃないかと思ったと回顧している。およそ10年に及ぶ切り詰めた表現の後で、「マチエールと色彩の差異にひたすら

身をまかせて」描き始めた後も、しばらくはS字や花模様、円や菱形など平面的な形が描かれた。本作は、画家がより大胆に立体的な形象を描き始めた90年代半ばに描かれた1点で、制作された年に開かれた、東京国立近代美術館での個展^{※1}に出品された。

艶やかな青は、丸い筒の青として十分に具体的だが、具体的な物の描写ではない。それらの形象は「絵画空間としてしか体験できない」^{※2}、具体的な質(色)を持った抽象的な形(奥行)である。その意味で辰野の絵画は、本人が言うように「空間そのものがメインテーマ」であり、「具象とも抽象とも言えない絵画」なのである。再現的描写を離れて尚、「生動する差異」^{※3}によって豊かな実在性を感じさせるその作品は、絵画の平面性、キュビズム以降の浅い空間性を追求した、抽象表現主義以降のモダニズム絵画の達成を正当に受け継ぐものだろう。2014年、64歳で病没。早すぎる死が惜まれる。(学芸課主幹 以倉新)

※1 「辰野登恵子 1986-1995」東京国立近代美術館、1995年。

※2 南雄介「辰野登恵子 絵画と版画」『在る表現―その文脈と探訪』図録、茅野市美術館、2016年、10頁。

※3 本江邦夫「辰野登恵子」(作家解説)『現代美術への視点―メタファーとシンボル』図録、東京国立近代美術館ほか、1984年、84頁。

※ 他の引用はすべて「与えられた形象 辰野登恵子 柴田敏雄」図録(国立新美術館、2012年)所収の辰野コメントおよび柴田との対談録による。

富山県美術館(TAD)

〒930-0806 富山県富山市木場町 3-20 (富岩運河環水公園内)

TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712 <https://tad-toyama.jp/>